

対タジキスタン草の根・人間の安全保障無償資金協力 シャフリナウ行政郡中央病院外科整備計画供与式報告

平成27年7月23日、「シャフリナウ行政郡中央病院外科整備計画」の計画完了を記念する供与式がシャフリナウ行政郡で開かれ、鎌田崇志大使、シャフリナウ行政郡長並びに本計画を実施したシャフリナウ行政郡中央病院関係者が参席しました。

シャフリナウ行政郡は首都ドゥシャンベより約40km西方に位置する人口約12万人の行政郡です。シャフリナウ行政郡唯一の総合病院であるシャフリナウ行政郡中央病院は、ソ連時代に建設された建物の老朽化や必要不可欠な医療機材の不足の改善が必要とされていました。

今般本計画を通じ外科病棟の改修及び医療機材の整備を行ったことにより、同病院ではより質の高い医療が提供できるようになり、現在ではシャフリナウ行政郡だけでなく近隣の行政郡からも患者が訪れるようになりました。



供与式にてタジキスタンの伝統的な歓迎を受ける鎌田大使及びホキムゾダ行政郡長。



整備された日本製の高性能胃カメラに病院関係者も大喜びでした。



刷新された手術台にも日本の支援を示すODAステッカーが貼付されています。



刷新された腹腔鏡により、より質の高い腹腔内の診察も可能となりました。